はじめに

愛荘町の高齢化率は、この先、令和 7 年（2025 年）に 22.8%、令和 22 年（2040 年）に 26.9%、また、全国では、令和 7 年に 30.0%、令和 22 年には 35.3%に達すると予測しています。

本町は、全国と比べ低いものの、増加傾向にあります。

これまでの計画においては、「安心・生きがい・幸せあふれ、ホッとするまち　愛荘町」を基本理念とし、中長期的な視点に立ち、要介護状態になっても住み慣れた地域で、最後まで自分らしい暮らしを続けられるよう、予防・介護・医療・生活支援・住まいと生活環境・生きがいや余暇が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の実現に取り組んでまいりました。

いわゆる団塊ジュニア世代が 65 歳以上となり、介護需要がピークを迎えるとともに、支え手となる世代が減少する 2040 年を展望して、地域で高齢者を支える人的基盤の確保や早期予防の取り組みがますます重要となってきます。

また、地域住民が抱える複雑化、複合化する課題に対応するため、介護保険のみならず、だれもが生きがいと安心して自分らしい生活ができる「地域共生社会」の仕組みが必要であることから地域包括ケアシステムをさらに強化していかなければなりません。

このたび、令和 3 年度から令和 5 年度までの 3 年間を計画とする「愛荘町第８期高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画」を策定しました。

この計画に基づいて、高齢者の方々をはじめ町民のみなさまが住みなれた町でいつまでも自分らしい生活を続けることができるよう、みなさんとともに取り組んでいきます。

結びに、本計画の策定にあたり、審議いただきました愛荘町高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画策定委員会の委員のみなさまをはじめ、アンケート等にご協力いただきました町民のみなさまに対し心からお礼申し上げます。

令和３年４月

愛荘町長　　有村　国知